

第一章 自然	第一篇 美川村の環境
第二章 人	第二篇 美川村の誕生
第三章 行政	第三章 美川村の生まれるまで

第一部 美川村の歩み

刊行のことば	美川村長 新谷 優
発刊にあたって	美川村議會議長 村上清章
編集顧問として	愛媛県史編纂委員 伊藤義一

目次

愛媛県史編纂委員 伊藤義一

昭和五〇年二月

私は短期間ではあったが村民の一人となり、土居事務局長をお助けして全巻にわたり関与させていたゞき、よい思い出となつた。その間、新谷村長・山下助役・長岡収入役はじめ吏員各位が私に寄せてられたご厚意に深くお礼を申し上げたい。特に土居武男氏の温いお心遣いは忘れない。この書が今後の村政に役立ち、村民生活の指針となり村の発展に寄与するじとを確信して、ご挨拶としたい。

第一回 行政	五七	第四篇 産業経済	八五	第一章 農業の動向	八七	第二章 農業	九一	第三章 林業	一五五	第四章 商工業	一七六	第五章 土木・交通・國土調査	一八五	第六章 通信	一九六	第七章 國土調査	一九九	第八章 生活向上	二二九	第九章 通信・生活向上・町村計画	二二七	第十章 教育文化	二三六	第十一章 社會教育	二三五	第十二章 文化化	二八七	第十三章 社會教育委員会	二三九	第十四章 教育・文化化	二三九	第十五章 教育委員会	二三三
第二回 消防	三三五	第三回 治安と消防	三三三	第四回 福祉厚生	一九七	第五回 保健衛生	三一五	第六回 福祉厚生・保健衛生	一九五	第七回 福祉厚生	一九七	第八回 福祉厚生・保健衛生	三一五	第九回 治安と消防	三三三	第十回 信仰と社會	三四五	第十五回 信仰と神社・仏閣	三五四	第十六回 消防	三四〇	第十七回 美川の風光	三六七	第十八回 美川名勝・旧跡	三六八	第十九回 美川の回顧	三七五	第二十回 合併前後の思い出	三七七				

過去一六年を顧みて	三八二
歴代村長・助役・収入役・村議會議長副議長・議員・役場職員	三八六
第二章 岩陰遺跡	三九七
第三章 古代の久万山	三九九
第四章 中世の久万山	四〇三
第五章 藩政時代の久万山	四〇八
第六章 第一章 自然	四三九
第七章 久万山の歴史	四四一
第八章 第二部 旧村の沿革	四六二
第九章 第三章 農業	四六〇
第十章 第四章 教育	四七四
第十一章 第五章 交通通信	四七四
第十二章 第六章 治安と消防	四七八
第十三章 第七章 民俗	四八一
第十四章 第八章 伝説	四八六
第十五章 第九章 村につくした人々	四九一
第十六章 歴代村長・助役・収入役・村議會議員	四九八
第十七章 第二篇 仕七川村	五〇五
第十八章 第一篇 自然然	五〇七
第十九章 第三章 農業	五〇八
第二十章 第四章 教育	五一〇
第二十一章 第五章 歴史	五一六
第二十二章 第六章 治安と消防	五一七
第二十三章 第七章 伝説	五一八
第二十四章 第八章 俗文化	五一九
第二十五章 第九章 村につくした人々	五二三
第二十六章 第六章 治安と消防	五四七
第二十七章 第七章 民俗	五四八
第二十八章 第八章 伝説	五四九
第二十九章 第九章 村につくした人々	五五三
第三十章 第八章 治安と消防	五五九

第二部 旧村の沿革

過去一六年を顧みて	三八二
歴代村長・助役・収入役・村議會議長副議長・議員・役場職員	三八六
第二章 岩陰遺跡	三九七
第三章 古代の久万山	三九九
第四章 中世の久万山	四〇三
第五章 藩政時代の久万山	四〇八
第六章 第一章 自然	四三九
第七章 久万山の歴史	四四一
第八章 第二部 旧村の沿革	四六二
第九章 第三章 農業	四六〇
第十章 第四章 教育	四七四
第十一章 第五章 交通通信	四七四
第十二章 第六章 治安と消防	四七八
第十三章 第七章 民俗	四八一
第十四章 第八章 伝説	四八六
第十五章 第九章 村につくした人々	四九一
第十六章 歴代村長・助役・収入役・村議會議員	四九八
第十七章 第二篇 仕七川村	五〇五
第十八章 第一篇 自然然	五〇七
第十九章 第三章 農業	五〇八
第二十章 第四章 教育	五一〇
第二十一章 第五章 歴史	五一六
第二十二章 第六章 治安と消防	五一七
第二十三章 第七章 伝説	五一八
第二十四章 第八章 俗文化	五一九
第二十五章 第九章 村につくした人々	五二三
第二十六章 第六章 治安と消防	五四七
第二十七章 第七章 民俗	五四八
第二十八章 第八章 伝説	五四九
第二十九章 第九章 村につくした人々	五五三
第三十章 第八章 治安と消防	五五九

第一部 美川村の歩み

第四篇 中津村	五五七
第二章 自然	五六九
第一章 歴史	五七〇
第三章 産業・経済	五七七
第四章 教育	五八二
第五章 交通・通信	五九〇
第六章 治安と消防	五九六
第七章 民俗	五九八
第八章 伝説と旧跡	六〇五
第九章 村につくした人々	六一四
美川村史表	六一六
美川村二十年誌編集委員名簿	六三八
美川村役山村下傳三郎	あとがき

第一 篇 美川村の環境

第一章	自然	
第一節	區域・位置・面積	三
第二節	地勢・地質	四
第三節	氣候	六
第四節	生物	七
一、動物		九
二、植物		七
第二章	人	
第一節	產業	一〇
第二節	人口動態	一〇
第二章	人	

第一二篇 美川村の誕生

第一章 明治以来の県内の動き	一五
第一節 明治維新	一五
一、愛媛県の誕生(明治六年) 一五	
二、大区小区制(明治五年) 一五	
第三節 明治中期	一七
一、郡区町村編成法(明治一年) 一七	
二、市制町村制(明治二一年) 一九	
三、郡の統合(明治三十一年) 一〇	
第三節 町村合併促進法	一一
第一節 一ヵ村半合併への経緯	一一四
第二節 新村の成立	一一五
第一章 美川村の生れるまで	一一六

第三篇

行

財

政

第一章 行政政	四五
第二節 三役委員会	四五六
第三節 各種委員会	五二
第四節 行政事務機構	五四
第五節 庁舎・集会所	五四
第六節 行政区画の変更	五五
第二章 財政	五七
第一節 財政の概況	五九
第二節 年度別歳入歳出の概要	七一
第三節 国民健康保険事業会計の概要	七二
第四節 財産	七二

第四 篇

產業 經濟

第一章	産業の動向	
第三章	林業	
第一節	戦後のうつりかわり	八七
第二節	農林業の概要	一五五
第三節	森林組合	一五六
第四節	村と共同の事業	一六二
第一章	農業	
第一節	作物別動向と主要な施策	九一
第二節	農業施策	九六
第三節	農業委員会	一〇〇
第四節	農業生産条件整理事業	一〇四
第五節	農業共済事業	一三五
第六節	農業協同組合	一三六
第七節	農林漁業制度資金	一四九
第八節	畜産	一四九
第九節	水産	一五二
第二章	農業	
第一節	戦後のかわり	八七
第二節	農林業の概況	八八
第三節	組合の事業	一六〇
第四節	村と共同の事業	一六二
第一章	農業	
第一節	農業委員会	一七六
第二節	商工業の概要	一七八
第三節	農業生産条件整理事業	一〇四
第四節	農業共済事業	一三五
第五節	農業協同組合	一三六
第六節	農業制度資金	一四九
第七節	畜産	一四九
第八節	水産	一五二

第五篇

土木・交通・國土調査

第一章 土木	一八五
第二節 道路・橋梁	一八五
一、国道 二、県道 三、村道	一八七 一八五 一九
第二節 國土保全	一九五
第一章 國土調查	一九六
第二章 交通	
第三章 國土調查	
第一節 地籍調査の必要	一九九
一、これまでの土地調査 二、國土調査法の成立と目的	一九九 一九九
三、地籍調査 四、地籍調査の必要性	一〇〇 一〇一
五、地籍調査の効果	一〇一
第二節 本村の地籍調査事業	一〇一
一、これまでの実績 二、字の区域の変更など	一〇一 一〇三

第六篇

通信・生活向上・町村計画

第一章 通 信	一一九
第一節 電話の普及及	一一一
第二節 郵便事業	一二二
第一、美川郵便局	一二三
二、仕七川郵便局	一二四
三、柳谷郵便局	一二五
第二章 生活向上	
第一節 無電灯部落の解消	一三四
第二節 テレビジョン局の誘致	一三五
第三章 町村計画	
第一節 美川村振興計画	一三六
一、その目的	一三七
二、計画の内容	一三八

第七篇 教育・文化

第一章	教育委員会	一三一
第一節	公選制教育委員会	一三二
第二節	任命制教育委員会	一三三
第二章	学校教育	一三五
第一節	各学校の沿革	一三七
第二節	学校給食	一三七
第三節	学校保健	一三九
第三章	社会教育	一六六
第一節	公民館活動	一六六
第二節	幼兒教育	一七四
第三節	青年教育	一七五
第四節	婦人教育	一七九
第五節	P T A	一八三
第六節	社會體育	一八四
第四章	文化化財	一八七
第一節	上黒岩遺跡	一八七
第二節	上黒岩遺跡	一八八

第八 篇

福祉・厚生・保健衛生

第一章 福祉・厚生	第一節 国民年金制度	一、拠出制国民年金制度 二九七 二、無拠出制国民年金制度 二九八
	第二節 社会福祉事業	一、沿革 三〇〇 二、生活保護 三〇一 三、児童福祉 三〇四 四、母子福祉 三〇六 五、老人福祉 三〇六 六、身体障害者福祉 三〇九 七、戦争犠牲者の援護 三二一 八、社会福祉協議会 三二二 九、行政相談委員制度 三二三 一〇、共同募金 三二四 一一、日赤奉仕団 三二四
第二章 保健衛生	第一節 保険医療施設	一、美川村診療所 三五 二、歯科診療所 三六 三、民間医療施設 三七 四、伝染病 三三三 五、疾患と伝染病 三三三 六、検診と検査 三三三 七、疾病 三三三 八、伝染病 三三五 九、環境衛生 三三五 一〇、屎処理事業 三三七 一一、火葬場 三三八 一二、畜犬登録 三三九
	第二節 国民健康保険	一、疾病 三三三 二、検診と検査 三三三 三、伝染病 三三五 四、伝染病舍 三三五 五、畜犬登録 三三九
第三章 保健衛生	第一節 疾病と伝染病	一、疾患と伝染病 三三三 二、検診と検査 三三三 三、伝染病 三三五 四、伝染病舍 三三五 五、畜犬登録 三三九
	第二節 環境衛生	一、簡易水道事業 三三五 二、屎処理事業 三三七 三、み処理 三三五
第四章 保健衛生	第一節 母子保健	一、畜犬登録 三三九

第九篇

治 安 与 消 防

第一章 治 安

第一節 警察官駐在所の沿革	三三五
第二節 防犯対策	三三六
第三節 交通安全対策	三三八

第二章 消 防

第一節 美川村消防団の発足	三四〇
第二節 消防装備施設の現況	三四一

第一〇篇

信仰と社寺

第一章 信仰

第一節 庶民信仰	三七
一、共通する信仰	三四八
二、部落特有の信仰	三五二
第二節 宗教	三五三
一、黒住教	三五三
二、天理教	三五三
三、金光教	三五三
四、創価学会	三五四
五、立正佼成会	三五四
六、石鏡教	三五四
第二章 神社・仏閣	三四四
一、八柱神社	三五五
二、八幡神社	三五五
三、御三声神社	三五六
四、八社神社	三五六
五、赤藏神社	三五六
六、者無神社	三五七
七、龍池神社	三五七
八、河内八社神社	三五八
九、熊野神社	三五八
一〇、八社神社	三五九
一一、大富八幡神社	三五九
一二、河崎神社	三五九
一三、尾崎神社	三五九
一四、宮柱神社	三五九
一五、松原八社神社	三五九
一六、極楽寺	三五三
一七、光明寺	三五三
一八、正泉寺	三五三
一九、宗泉寺	三五三
二〇、岩屋寺	三五三
第二節 仏閣	三〇
一、東光寺	三五〇
二、正泉寺	三五一
三、光明寺	三五一
四、岩屋寺	三五三

第一
二
篇
觀

光

第一章 美川の風光	三六七
第二章 名勝。日跡	三六八
第二節 名勝	三六八
一、御三戸嶺	三六九
二、面河川	三六九
三、穴神鐘乳洞	三六九
四、美川スキーフィールド	三六九
第二節 旧跡	三七一
一、岩屋寺	三七一
二、上黒岩遺跡	三七一
三、赤藏カ池と矢竹城址	三七一
第三節 観光の将来	三三四

第一二篇

美川村二〇年の回顧

合併前後の思い出.....初代村長　土居　通栄.....三七七

過去一六年を顧みて.....新谷　健.....三八二

第二部 旧村の沿革

第一篇
久万山の歴史



第一章 岩陰遺跡	第四章 藩政時代の久万山
第一節 久万山について	第一節 松山藩の支配
第二節 上黒岩の岩陰遺跡	第二節 四国遍路
第三節 土佐街道	第三節 四國遍路
第四節 古代の久万山	第四節 百姓一揆
第五節 浮穴郡の起り	第一節 久万山一揆
第六節 古代の道	二、土佐農民の久万山逃散
第七節 いよすだれ	第五節 餓饉と備荒貯蓄
第八節 大宝寺と岩屋寺	第四節 大宝寺と岩屋寺
第九節 伊予の河野氏	第一節 伊予の河野氏
第十節 大野氏と大除城	第二節 大野氏と大除城
	四〇九
	四〇八
	四〇六
	四〇五
	四〇四
	四〇三
	四〇二
	四〇一
	四〇〇
	三九九
	四三九
	四三〇
	四三一
	四三二
	四三三
	四三四
	四三五
	四三六
	四三七
	四三八
	四三九
	四四〇
	四四一
	四四二
	四四三
	四四四
	四四五
	四四六
	四四七
	四四八
	四四九

第二
篇

五

形

村

第一章	自 然	第六章	治 安 と 消 防
第一節	位置と面積	第一節	警 察 略
第二節	風 土	第二節	消 防
第三節	歴 史	第三節	防 固
第七章	民 俗		
第一節	第一節 村のつきあい	第一節	明 治 以 後
第二節	藩 政 時 代	第二節 衣・食・住	第二節 戰 後 の 教 育
第三章	産 业	第三節 大 川 の 伝 説	第三節 黒 岩 の 伝 説
第四章	教 育	第四節 有 枝 の 伝 説	第四節 明 治 以 後 の 教 育
第五章	交 通 ・ 通 信	第五節 寺 小 屋 教 育	第五節 戰 後 の 教 育
第六章	第 九 章 村 に つ く し た 人 々	第六節 有 枝 の 伝 説	第六節 日 野 浦 の 伝 説
第七章	歷 代 村 長 ・ 助 役 ・ 収 入 役 ・ 村 議 会 議 員	第七節 郵 便	第七節 道 路 交 通

第三篇

仕

七

川

村

第一章	自 然	五七
第二章	歴 史	五四三
第六章	治 安 と 消 防	五〇八
第二節	藩 政 時 代	五一六
第三節	明 治 以 後	五三三
第七章	民 俗	五四八
第一節	住 居	五四八
第二節	食 物	五四八
第三節	衣 服	五四〇
第四節	信 仰	五四〇
第二章	产 业	五二六
第三節	人 口	五二五
第四節	財 政 の 推 移	五二五
第二章	教 育	五二〇
第一節	小 学 校 の 出 来 る ま で	五二〇
第二節	小 学 校 の 設 立	五二一
第三節	各 校 の 沿 革	五二二
第四節	歷 代 村 長 ・ 助 役 ・ 収 入 役 ・ 村 議 会 員	五二九
第五章	交 通 ・ 通 信	五三七
第一節	道 路 交 通	五三七

第四篇 中津村

第一章	自然	第五章	交通・通信
第一節	面積・地勢	第二節	交通
第二節	気候	第三節	通信
第三節	生物	第四節	信息
第二章	歴史	第六章	治安と消防
第一節	藩政以前	第二節	治安
第二節	藩政時代	第三節	消防
第三節	明治以後	第四節	経済・産業
第三章	民俗	第五節	行事
第一節	衣・食・住	第六節	年中行事
第二節	業	第七節	子どもの遊び
第二章	教育	第八節	伝説と旧跡
第一節	学校のよいち	第九章	村につくした人々
第二節	各校の沿革	第二節	歴代村長・助役・取入役・村議會議員